

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市子ども会育成連絡協議会運営事業補助金	開始 年 度	昭和39年度
団 体 名	函館市子ども会育成連絡協議会		
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市補助金交付規則		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	函館市内の子ども育成者組織の連合体として、子ども会活動の育成に関する事業を行う。
目 的	(目 的) 青少年の健全育成のため
・ 効 果	(効 果) 子どもの社会生活の順応、特に「自立」「協調」「奉仕」の精神を涵養し、情緒豊かな人格形成を目的とした子ども会活動を推進するとともに、会員・育成者の資質向上が図られる。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金		計
		市	その他					
収 入	26	1,500	0	52	131	76		1,759
	27	1,400	0	54	123	73		1,650
	28	1,200	75	72	116	62		1,525
	29	1,200	0	84	119	0		1,403
	30	1,144	0	65	115	0		1,324
支 出	年 度	事務費	事業費	上部団体 負担金等				計
	26	151	1,459	76				1,686
	27	194	1,321	73				1,588
	28	211	1,241	73				1,525
	29	182	1,148	73				1,403
	30	102	1,149	73				1,324

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市子ども会育成連絡協議会運営事業補助金
----------------	-----------------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	函館市内の子ども会育成組織の連合体として、子ども会活動の育成に関する事業を行い、子どもの社会生活に必要な徳性の涵養および健全育成に寄与している。 さらに、子ども会不加入の子どもが参加可能な青函子ども会交流も実施しており、広く子どもたちの健全育成に寄与している。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	教育問題の深刻化が進む社会情勢にあって、地域の果たす役割はますます重要性を増しており、当該団体の活動は少なからずその役割を果たしている。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	☒	☐	当該団体は、活動のより一層の充実を図ること等を目的に、平成20年にNPO法人化するなど、自主的な活動を続けているところであるが、少子化傾向により会費等の大幅な増加の見込みはなく、経済基盤は極めて弱い中において、青少年にとって最も身近な地域活動を行うには、補助金の継続が不可欠である。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	地域における子どもたちの育成を期待するものであり、補助の形態が望ましい。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☒	補助対象経費の見直しを図り、積算基準額を明確にする。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☒	当該団体の事業は、ほぼ当市からの補助金により賄われている状況にあるが1/2を団体が負担することは、性質上困難である。
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート(No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市子ども会育成連絡協議会運営事業補助金
----------------	-----------------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

年間の事業活動の実施により, 地域におけるまちづくりの活性化や青少年の健全育成が図られている。

また, 育成者, 指導者, ジュニアリーダー, シニアリーダーが実践や研修を重ねることで, 市子連, 各地区子連, 単位子ども会の活動が相乗的に充実している。

(達成状況)

- ・青函子ども会交流 (15名)
- ・各地区スポーツ交流大会 (28名)
- ・各地区による地域活動 (通年)
- ・ジュニアリーダー育成研修 (17名)
- ・指導者研修会

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評価)

- 十分効果をあげている ☐
- 一定の効果をあげている ☒
- 効果が疑問である ☐
- その他 ☐

(理由)

子どもの社会生活の順応「自立」「協調」「奉仕」の精神が涵養し, 会員・育成者の資質向上が見られる。

○今後の方向性

☐ 現行のまま補助を継続☒ 見直したうえで補助を継続☐ 廃止☐ その他

(見直しの内容)

団体に対し, 事業の見直しを依頼するとともに, 団体との協議を続け, 補助金額および基準額の積算方法を検討することとした。

(見直しの時期)

平成30年度

(廃止の理由)

(廃止の時期)

(その他の内容)

○終期の設定

終期設定

令和3年度

☐

終期到来により廃止

☒

終期到来時に再検討

次回チェック年度(予定)

令和3年度